

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024年度 第1回 学生交流委員会
議事録

開催日時：2024年5月7日（火）15:00～16:30

開催場所：オンライン会議（Zoom）

出席校（委員、代理）：

◎神戸常盤大学（工藤）

○神戸学院大学（岸本、島内）

芦屋大学（吉田）、関西国際大学（山住）、関西学院大学/関西学院短期大学（谷口）

甲南大学（松下）、甲南女子大学（松井、木村、田淵）、神戸大学（山地）

神戸海星女子学院大学（神原）、神戸市看護大学（神谷）神戸松蔭女子学院大学（土肥、左官）

神戸女学院大学（井上）、神戸女子大学/神戸女子短期大学（山下）、神戸親和大学（金山）

頌栄短期大学（近藤）、園田学園女子大学/園田学園女子大学短期大学部（小林）

姫路大学（山田、西田）、兵庫県立大学（大河内）

※ ◎は委員長校、○は副委員長校、敬称略

欠席校：大手前大学、大手前短期大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部

陪席（連携企業・団体）：ヴィクトリーナ姫路（上原、今別府）、日本財団ボランティアセンター（豊永）

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局：阿久根、中水、谷本

I. 開会

1. 委員長校・副委員長校挨拶
2. 委員紹介 (資料1)
3. 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料2)

II. 協議事項

1. 2024年度事業計画（詳細）・予算について (資料3)
2. note 記事寄稿学生への謝礼について (資料4)
3. その他

III. 報告事項

1. 2023年度事業について (資料5)
 - ・日本財団ボランティアセンター共催事業について
 - ・ナガセケムテックス株式会社 presents ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト
 - ・兵庫の魅力兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project
2. 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報について
 - ・大学連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成委託業務
3. その他

IV. 意見交換

1. 能登半島地震学生ボランティアについて
2. 阪神・淡路大震災30年に向けて
3. その他

V. 連絡・調整事項

1. 定時総会 日時：6月5日（水）15：00～16：30
2. 2024年度の学生交流委員会開催日程
第2回委員会 6月：能登半島地震ボランティアについて情報交換
第3回委員会 9月：2024年度タイプ3プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）
第4回委員会 12月：2024年度 自己評価（案）
第5回委員会 2月：2025年度 事業計画・予算案（案）
第6回委員会 3月：2025年度 事業報告・決算（案）

以上

<配布資料>

- 資料1-1：2024年度 学生交流委員会委員
資料1-2：2024年度 第1回学生交流委員会出席者名簿
資料2-1：2024年度 正会員一覧
資料2-2：2024年度 賛助会員一覧
資料2-3：2024年大学コンソーシアムひょうご神戸について（学生交流）
資料3：2024年度 事業計画詳細（案）
資料4-1：加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施について
資料5-1：2023年度学生交流委員会事業報告・決算
資料5-2：ナガセケムテックス株式会社 presents
 ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト2023報告書
資料5-3：兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project 実施概要
資料5-4：大学連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成委託業務報告書
参考資料1：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期（2022～2026）
参考資料2：事業委員会の運営に関する申し合わせ

I. 開会

1. 委員長校・副委員長校挨拶
開会にあたり、委員長と副委員長より挨拶があった。
2. 委員紹介
神戸常盤大学・工藤委員長より、資料1-1～資料1-2に基づき、委員の紹介があり、各校出席者より一言、挨拶があった。
3. 大学コンソーシアムひょうご神戸について
コンソ事務局より、資料2-1～資料2-3に基づき、大学コンソーシアムひょうご神戸の取組の説明があった。

委員長校の工藤氏より、2023年度の連携先である、姫路ヴィクトリーナ・代表取締役社長・上原様、法人営業部・今別府様、日本財団ボランティアセンターの豊永様をお迎えして、昨年度の連携事業について、ご報告いただく機会を設けていることから、「Ⅱ. 協議事項」に先立ち、「Ⅲ. 報告事項」から本会は進行された。

Ⅲ. 報告事項

1. 2023 年度事業について

コンソ事務局より、資料 5-1～資料 5-4 に基づき、昨年度事業について説明があった。

- ・ナガセケムテックス株式会社 presents ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテスト
ヴィクトリーナ姫路の上原代表取締役より、資料 5-2 に基づき、昨年度のスポーツビジネスコンテストの実施内容について、ご報告いただいた。
- ・日本財団ボランティアセンター共催事業について
日本財団ボランティアセンターの豊永様より、昨年度事業のご報告と日本財団ボランティアセンター共催事業についての説明があった。
- ・兵庫の魅力兵庫の魅力 Student Treasure Hunt Project
コンソ事務局より、資料 5-3 に基づき、2024 年度は兵庫県立兵庫津ミュージアムで、2023 年度に実施したひょうごフィールドパビリオンでのモニターツアーによる学修成果を発表する展覧会会場のイベント・ワークショップ運営に向けて、参加学生を募集予定であることの報告があった。

2. 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報について

- ・大学連携組織を活用した県民向け防災施策 P R 動画作成委託業務
コンソ事務局より、資料 5-4 に基づき、兵庫県「ひょうごチャンネル」において、加盟校学生が制作に取り組んだ成果物として、防災・減災動画「ぼうさい学生ニュース」が公開されている報告があった。

Ⅱ. 協議事項

1. 2024 年度事業計画（詳細）・予算について

神戸常盤大学・工藤委員長より、資料 3 に基づき、2024 年度事業計画（詳細）・予算について説明があり、協議の結果、異議なく承認された。

2. note 記事寄稿学生への謝礼について

神戸常盤大学・工藤委員長より資料 4-1 に基づき、今年度の取組 2 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」の取組について、単年度の目標を達成するために、寄稿した学生への謝礼の提供について、検討事項としてあがっている説明があった。協議の結果、本件については委員長・副委員長・コンソ事務局の預かりとし、各大学へ謝礼取り扱いについて再度意見を伺う方向で進めていくことを確認した。

課題と現状

- ・昨年度実績は 25 件（目標設定は 5 年 200 件、年平均 40 件）で単年度としては不足している
- ・記事は、加盟校の既存の広報記事を転載（修正/加筆）したものも可としている
- ・原稿文字数は 600-2000 字と投稿しやすいように、幅を設けており、写真等との組み合わせで記事が構成されていても可としている。
- ・寄稿記事は原則、原文をそのまま掲載している。学生の地域活性化に関する各校の取組であれば、可としており、大学から提供される記事内容や構成を限定せず、寄稿者についても大学の判断によるものとしている。現状で提出された掲載内容は、依頼文の主旨に即しているため、大学が掲載したい記事を掲出している。
- ・他の事業委員会では学生の取材活動・執筆に謝礼を出しているケースもある。
- ・教員には原稿料をコンソ規程に応じて支払っている場合もある。

<主な意見等>

学生の謝礼については、以下のような意見があった。

(謝礼があってもいい)

- ・ケースによっては学生への謝礼は問題ないと思うが、学生が原稿がそのまま使えない事態も考慮する必要がある(教職員の推敲等で手が加えられる場合など)。
- ・学生には謝礼があるとありがたい。理由は学生に寄稿を依頼しやすい事情がある。教員の印象では依頼の入口(学生に関心を持ってもらえる等)として謝礼は悪くないという認識だ。もちろん謝礼ありきの寄稿依頼ではないことは大前提だ。

(謝礼はなくてもいい)

- ・学生に対しては、教育活動の一環として行っていることで謝礼は不要だと考える。
- ・教職員については大学の業務として行っていることでは、基本的に謝礼はなじまない。
- ・(寄稿依頼に類似したケースで単純に比較はできないが)ボランティアで学生を集めるときに問題になることで、交通費の場合は、支給の有無が活動参加の可否につながることもある。
- ・昨今、どの大学でも地域貢献活動は取り組まれていると考えるので、寄稿を促進する目的での謝礼は必要ないのではないかと。

(各校で判断)

- ・謝礼の受け取りを各校が判断するのは大学職員として違和感がある。謝礼については寄稿者本人が受け取りの判断をするのが自然のように思う。
- ・各校でいろいろな立場があるので、謝礼支払の一つの基準を当てはめるのは大変だ。コンソ事務局で枠組みをつくって、各大学に個別に判断することをゆだねてみてはどうか。

3. その他

特になし。

IV. 意見交換

1. 能登半島地震学生ボランティアについて

神戸常盤大学・工藤委員長より、第2回学生交流委員会を6月に開催し、能登半島地震に対する学生ボランティアの取組状況について、情報共有等の場を設ける旨の説明があった。

2. 阪神・淡路大震災30年に向けて

神戸常盤大学・工藤委員長より、第2回学生交流委員会で、各校での阪神・淡路大震災30年目に向けての取組等があれば、情報共有を行うことを確認した。

3. その他

特になし。

V. 連絡・調整事項

コンソ事務局より、定時総会と委員会の開催(予定)について説明があった。

以上